



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キング

コード番号 8118 URL <http://www.king-group.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 幸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部門管掌 (氏名) 石井 修二

TEL 03-5434-7282

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,424	△0.8	599	22.3	775	27.1	467	28.1
25年3月期第2四半期	6,476	0.9	489	30.7	610	21.4	364	25.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 545百万円 (62.6%) 25年3月期第2四半期 335百万円 (37.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	24.08	—
25年3月期第2四半期	17.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	21,651	18,570	85.8
25年3月期	22,103	18,316	82.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 18,570百万円 25年3月期 18,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	1.2	1,035	△2.2	1,330	△0.3	765	△2.8	39.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	24,771,561 株	25年3月期	24,771,561 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	5,385,078 株	25年3月期	5,340,158 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	19,405,743 株	25年3月期2Q	21,258,511 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権下の経済政策・金融緩和策等による円高の是正や株価の上昇により、緩やかな景気回復の兆しが見られましたものの、欧州債務問題の長期化や新興国の景気停滞による世界経済の下振れ懸念もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

ファッション業界におきましては、景気回復への期待感による消費者マインドの向上等により一部の高額商品に持ち直しの傾向が見られましたが、依然として厳しい雇用情勢や所得環境の改善遅れから消費者の購買意欲は本格的な回復までには至らず、全般的には厳しい経営環境が続きまして。

このような環境のもと当社グループは、ファッションビジネスに不可欠な「科学」と「感性」のバランスを時代に合わせて見つめ直し、「強いものづくり」こそが全てにおいて優先するという揺るがない基軸のもと、独自性・複雑性を徹底追求し、高品質・高品位の商品作りに引き続き注力すると共に、生産性の向上や経費の節減に努めてまいりました。

その結果、売上高は64億24百万円（前年同期比0.8%減少）、経常利益は7億75百万円（前年同期比27.1%増加）となり、四半期純利益は4億67百万円（前年同期比28.1%増加）となりました。

事業セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(アパレル事業)

当該事業の根幹となる高品質・高感度の「強い商品力」追求に向け、ブランドコンセプトの明確化、クリエイション力の強化、シーズン時系列店頭展開の確立に注力すると共に、原価意識の徹底によるコスト管理の強化、検品体制の一層の強化による品質品位の向上に取り組みました。

営業面につきましては、フランチャイズショップ戦略の更なる強化に向けて、既存店につき各ショップ毎の課題ポイントを細かく洗い出し、より具体的な対応策として積極的な店舗改装の推進、店頭運営力の更なる向上に向けて「営業フローチャート」「店頭活性化マニュアル」「店頭タブレット」の有効活用、社員教育強化による店頭演出力の向上、アクセサリーの役割強化等に注力いたしました。

その結果、売上高は57億82百万円（前年同期比0.6%減少）、営業利益は6億12百万円（前年同期比24.3%増加）となりました。

(テキスタイル事業)

プリント生地の特化した企画提案型テキスタイルコンバーターとして、意匠力・提案力・対応力を強化すると共に、当社が所有する「ヴィンテージコレクション」（1800年から1980年までのヨーロッパ生地見本）を有効活用することにより独自性をアピールし、引き続き高感度・高品質商品の提案を推進いたしました。

その結果、売上高は6億42百万円（前年同期比2.4%減少）、営業利益は27百万円（前年同期比47.1%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は216億51百万円となり、前連結会計年度末比4億52百万円の減少となりました。

流動資産は101億99百万円となり、前連結会計年度末比5億53百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等によるものであります。また、固定資産は114億52百万円となり、前連結会計年度末比1億1百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産の減少及び投資有価証券の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は30億81百万円となり、前連結会計年度末比7億5百万円の減少となりました。

流動負債の残高は23億53百万円となり、前連結会計年度末比6億88百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少及び賞与引当金の減少等によるものであります。また、固定負債は7億27百万円となり、前連結会計年度末比17百万円減少いたしました。これは主に退職給付引当金の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は185億70百万円となり、前連結会計年度末比2億53百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は、85.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、2億1百万円増加（前年同四半期は31百万円増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上及び法人税等の支払等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億92百万円減少（前年同四半期は5億82百万円減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得及び投資有価証券の取得によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億96百万円減少（前年同四半期は8億28百万円減少）となりました。これは主に、配当金の支払による支出によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ、3億87百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末の残高は52億51百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想は概ね予想どおりに推移しており、現時点においては、平成25年5月9日に発表いたしました業績予想の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,639	6,251
受取手形及び売掛金	1,715	1,359
商品	2,010	2,137
原材料及び貯蔵品	45	49
繰延税金資産	192	115
その他	202	330
貸倒引当金	△54	△44
流動資産合計	10,752	10,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,124	2,073
土地	3,558	3,558
その他(純額)	327	303
有形固定資産合計	6,010	5,935
無形固定資産	61	50
投資その他の資産		
投資有価証券	1,079	1,251
長期貸付金	14	12
繰延税金資産	74	24
投資不動産(純額)	2,474	2,461
差入保証金	782	773
その他	879	967
貸倒引当金	△25	△24
投資その他の資産合計	5,279	5,465
固定資産合計	11,350	11,452
資産合計	22,103	21,651

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,169	1,061
短期借入金	380	380
1年内返済予定の長期借入金	50	50
未払法人税等	372	111
賞与引当金	319	170
役員賞与引当金	26	15
その他	723	565
流動負債合計	3,041	2,353
固定負債		
退職給付引当金	256	237
資産除去債務	102	102
長期未払金	167	167
その他	218	220
固定負債合計	744	727
負債合計	3,786	3,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	9,193	9,388
自己株式	△1,523	△1,544
株主資本合計	18,142	18,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	252
その他の包括利益累計額合計	174	252
純資産合計	18,316	18,570
負債純資産合計	22,103	21,651

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,476	6,424
売上原価	2,836	2,798
売上総利益	3,640	3,626
販売費及び一般管理費	3,150	3,027
営業利益	489	599
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	19	20
受取地代家賃	186	188
貸倒引当金戻入額	9	12
その他	27	31
営業外収益合計	252	260
営業外費用		
支払利息	3	2
賃貸費用	80	79
自己株式取得費用	45	0
その他	2	1
営業外費用合計	131	83
経常利益	610	775
特別利益		
固定資産売却益	1	2
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産除却損	9	11
特別損失合計	9	11
税金等調整前四半期純利益	602	766
法人税、住民税及び事業税	164	215
法人税等調整額	73	83
法人税等合計	237	299
少数株主損益調整前四半期純利益	364	467
四半期純利益	364	467
少数株主損益調整前四半期純利益	364	467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	78
その他の包括利益合計	△29	78
四半期包括利益	335	545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	335	545
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	602	766
減価償却費	259	225
その他の償却額	6	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	△10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△126	△149
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	△11
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△2	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△22	△18
受取利息及び受取配当金	△29	△28
支払利息	3	2
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△2
固定資産除却損	9	11
売上債権の増減額 (△は増加)	263	354
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△121	△129
仕入債務の増減額 (△は減少)	△389	△108
その他	△113	△261
小計	315	645
利息及び配当金の受取額	30	28
利息の支払額	△1	△11
法人税等の支払額	△311	△461
営業活動によるキャッシュ・フロー	31	201
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,500	△1,000
定期預金の払戻による収入	1,200	1,000
有形固定資産の取得による支出	△272	△149
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の取得による支出	△1	△50
貸付けによる支出	△2	△1
貸付金の回収による収入	5	2
差入保証金の差入による支出	△29	△9
差入保証金の回収による収入	20	9
その他	△2	△89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△582	△292
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△5	△4
自己株式の取得による支出	△586	△20
配当金の支払額	△236	△272
財務活動によるキャッシュ・フロー	△828	△296
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,378	△387
現金及び現金同等物の期首残高	5,837	5,639
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,458	5,251

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結財務諸 表計上額(注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	5,818	658	6,476	—	6,476
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	28	50	△50	—
計	5,840	686	6,526	△50	6,476
セグメント利益	492	18	511	△21	489

(注) 1. セグメント利益の調整額 △21百万円には、セグメント間取引消去 0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △22百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結財務諸 表計上額(注)2 (百万円)
	アパレル 事業 (百万円)	テキスタイル 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	5,782	642	6,424	—	6,424
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	24	42	△42	—
計	5,800	666	6,467	△42	6,424
セグメント利益	612	27	640	△41	599

(注) 1. セグメント利益の調整額 △41百万円には、セグメント間取引消去 △0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △41百万円が含まれております。

尚、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。